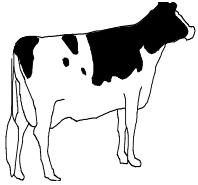


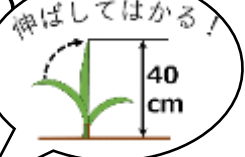
冬枯れを低減する草地更新スケジュール



1 番牧草の収穫が順調に進んでいます。栄養収量（栄養価×収量）の確保が期待できる年となりました。

さて、近年牧草の冬枯れが多く発生しており、更新草地における播種時期の遅れがその原因の一つとなっています。冬枯れ低減に向け、**8月中旬**までの更新作業の完了（草地から草地への更新）をおすすめします。

ポイント1 草地更新スケジュール（草地から草地への更新）



6月中旬	1 番牧草収穫	
7月中～下旬	グリホサート系除草剤の茎葉散布	耕起前の雑草が草丈40cm～60cmの時期に散布！！ 10日以上 <u>の枯殺期間を確保！！</u>
7月下～8月上旬	堆肥散布 → 耕起 → 砕土・整地 → 鎮圧	土壌分析を実施し、石灰など土壌改良材を投入しましょう
8月中～下旬	グリホサート系除草剤の播種前散布	泥炭土では使用をさける
	散布後0～10日以内に施肥・播種・鎮圧	越冬前の草丈7cm以上、 茎数 <u>1400本/m²</u> を確保！！

※参考：オーチャードグラスでは雪腐大粒菌核による冬枯れ防除に、トップジンM水和剤散布（薬剤防除、使用時期11月中～下旬 使用濃度1500～2000倍）が有効です。

ポイント2 翌春の草地を確認し、鎮圧・は種を実施する

〈凍上による根浮きがみられる場合〉 → ローラによる鎮圧

〈冬枯れによる牧草の個体数が減少した場合〉

→ プロキヤス追播+鎮圧 または、グラスシーダー(ブリリオンなど)+鎮圧

牧草の個体数を確保し、シバムギなどの雑草のない草地づくりを！！